

令和 8 年第 3 回富谷市議会定例会

一般質問通告書

質問順	氏 名	質問順	氏 名
1	菅原 福治	7	荒谷 敏
2	青柳 信義	8	出川 博一
3	渡邊 俊一	9	長谷川 る美
4	畠山 由美	1 0	菊池 美穂
5	須藤 義	1 1	渡邊 清美
6	浅野 直子	1 2	伊藤 嘉樹

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1
受付月日	8月18日（火）
受付時間	8：55

一 般 質 問 通 告 書

令和 8年 8月18日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 10 番 菅原 福治

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和8年第3回富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	菅原 福治
質 問 方 式	☒ 一括 一問一答

No. 1 質問件名 「産業創出」と「地域経済の活性化」について

【質問要旨】－簡明に－

本市は今年、市制施行10周年を迎えるにあたり、この10年を振り返り、次の10年に向けた成長戦略を進めています。

その一つとして、総合計画・基本目標である民間事業者や大学等との官民連携・産官学連携推進「とみや・つなぎ・つなぐれ」T3みちのく協議会を進めております。

この取組みは、民間の知見や活力を生かし、官民連携による新たなまちづくりと地域課題に取組み、「産業創出」と「地域経済の活性化」を図るものと理解しています。

そこで、「製造業をやりたくなるまち部会」（製造業部会）について伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 市制施行10周年を迎え、これまでの企業誘致をどのように総括しているか。
- 2 「とみや・つなぎ・つなぐれ」T3みちのく協議会の主旨、目的、具体的目標について。
- 3 製造業部会の「型」とは、具体的仕組みおよびプロセスについて。
- 4 製造業部会の令和6年度から7年度までの取組み実績と課題について。
- 5 製造業部会最大の課題である、支援先企業獲得の進め方について。
- 6 「とみや・つなぎ・つなぐれ」製造業部会の重点取組み等、今年度の取組みについて。
- 7 成田二期北工業団地と、東北シリコンロード拠点及び富谷・黒川地域の半導体関連最先端産業の位置付けと、T3みちのく協議会、官民連携・産官学連携推進との連動について。
- 8 成田二期北工業用地を、これまでの考え方である産業集積と、既に本市において応募済みの政府データセンター（DC）集積制度との関連をどのように進めるのか。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	2
受付月日	8月18日（火）
受付時間	9：00

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 8 月 1 8 日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 15 番 青柳 信義

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和8年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	青柳 信義
質 問 方 式	☒ 一括 一問一答

No. 1 質問件名 身寄りのない高齢者等サポート事業について

【質問要旨】 一簡明に一

政府は2026年6月、頼れる親族がいない一人暮らしの高齢者等を包括的に支える新事業を盛り込んだ、改正社会福祉法を参議院本会議で可決・成立しました。

これまで主に家族や親族が担ってきた役割を、国が正式に福祉サービス（第二種社会福祉事業）として制度化し、社会福祉協議会などが主体となって高齢者等を公的に支える仕組みが整えられます。

背景にあるのは、日本社会の急速な単身化です。国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、65歳以上の一人暮らし高齢者は2025年の約816万人から、2050年には約1,084万人へと増加、全世帯の44.3%が単身世帯になると見込まれており、65歳以上の単身世帯も急増していきます。

そのため、身寄りなし問題として三親等内に親族がいない「身寄りのない高齢者等」が増加しており、家族がサポートすることを前提としていた従来の社会制度では対応が限界を迎えていました。

更に、先行する民間の身元保証サービス等で高額な契約や解約に伴うトラブルが増えていたため、公的な安心の枠組みが急務となっていました。

このような背景を踏まえ、以下質問します。

【質問項目】 一列 記一

- 1 本市の一人暮らし高齢者数と将来推計をどのように把握しているかお伺いします。
- 2 重層的支援体制整備事業をどのように実施し、どのような成果を目指しているかお伺いします。
- 3 身寄りのない高齢者等への終活支援や死後事務支援を制度化する計画をお伺いします。
- 4 社会福祉協議会や地域包括支援センターとの連携をどのように強化していくのかお伺いします。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	3
受付月日	8月 18日 (火)
受付時間	9 : 25

一 般 質 問 通 告 書

令和 8年 8月 18日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 16 番 渡邊 俊一

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和8年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	渡邊 俊一
質 問 方 式	☐ 一括 ☐ 一問一答

No. 1 質問件名 市民の安全安心のため、防犯カメラの設置・増設について

【質問要旨】－簡明に－

全国各地で子供が対象の事件事故が多発しておる現状が毎日のように新聞、テレビ等で報道されております。令和8年3月に起きた京都南丹市の事件で当時5年生の児童が殺害された事件など、記憶に新しい心痛む事件、事故が発生しております。

また、昨年度よりクマの出没が多発しており、特に、小中高校生を学校に通わせておる保護者の皆さんは通学時はもとより公園などでの遊びの時など心配が絶えません。

以下質問いたします。

【質問項目】－列記－

1. 現在、富谷市で設置しておる防犯カメラは何台か。その内、小中学校施設での台数を伺います。
2. 防犯カメラの1台当たりの金額と設置予算について伺います。
3. 我が市の年間計画の防犯カメラ設置予算と台数について伺います。
4. 市内全域に、子供達をはじめ市民の安全安心のために防犯カメラの増設が必要と考えますが見解を求めます。
5. 子供達の遊び場や富谷小学生の送り迎えに利用されている駐車場としんまち公園に、早急に防犯カメラの設置を求めますが、見解を伺います。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	4
受付月日	8月18日（火）
受付時間	14：06

一 般 質 問 通 告 書

令和 8年 8月18日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 4番 畠山 由美

質 問 方 式 ☒一括方式 ・ 一問一答方式

令和 8年第 3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	畠山 由美	
質 問 方 式	<table border="1"><tr><td>一括</td></tr></table> 一問一答	一括
一括		

No. 1 質問件名 熱中症対策について

【質問要旨】－簡明に－

近年、夏期の記録的な高温が続き、熱中症による救急搬送や重症化が深刻な問題となっています。特に高齢者は、暑さや喉の渇きを感じにくく、室内でも熱中症になるリスクが高いことから、住宅における暑さ対策を進めることが重要です。

また、児童生徒が学校生活を送る上でも、厳しい暑さへの対策は不可欠であり、屋外活動等における熱中症リスクを低減する環境整備が求められています。5月にオープンしたユートミヤのとみのわパークにも、同様の理由から身体を冷やすことができるミストシャワーの設置を求めるものです。

さらに、猛暑時に誰もが一時的に暑さをしのぐことができるクーリングシェルターの周知や、利便性の向上が重要であると考えます。

そこで、市民の命と健康を守るため、本市の熱中症対策について、以下の点をお伺いします。

【質問項目】－列記－

- 1 エアコンを設置していない高齢者世帯に対し、熱中症予防の観点から、エアコン購入・設置費用の一部を補助する制度について、本市の見解を伺います。
- 2 特に、低所得の高齢者世帯など、熱中症のリスクが高い世帯を対象とした支援について、市としてどのように考えていますか。
- 3 本市の小中学校における熱中症対策の現状と課題について伺います。
- 4 児童生徒の登下校時や、体育、部活動、学校行事などで熱中症リスクを低減するため、身体を冷やすことができるミストシャワーを設置することへの本市の見解を伺います。
- 5 現在のクーリングシェルターの利用状況と、設置環境・開設時間帯について、どのように評価していますか。
- 6 高齢者をはじめ、熱中症リスクの高い市民にクーリングシェルターの存在を確実に届けるための周知を強化する必要性についての見解をお伺いします。

答弁を求める者 市長

議 員 名	畠山 由美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 低出生体重児と家族に対する支援の充実について

【質問要旨】－簡明に－

低出生体重児とは体重2500グラム未満で誕生した赤ちゃんを言います。現在は医学の進歩により、出生数に占める割合は9.4%、約10人に1人と言われていています。低出生体重児は、出生後にも医療的ケアが必要となる場合も多く、また、発育・発達の遅延や障害、成人後も含めた健康に係るリスクが大きいことが指摘されています。そのため保護者は、さまざまな不安を持ったり、育児上の困難を抱えやすい傾向にあります。

低出生体重児は生まれるとすぐNICUに入院し、治療を受けることになり、無事に退院するまでの間、保護者は赤ちゃんの成長に一番良いとされる母乳を届けなくてはなりません。小さく生まれた赤ちゃんの命を守るため、家族は多くの困難と戦いながら生活をしています。例えば、母乳を届けるには、搾乳機や母乳パックが必要であり、遠くの病院に入院している場合は、毎回の交通費も発生します。紙おむつも市販されているサイズは大きすぎるため、病院で販売している6Sサイズで割高になります。そうした経済的な負担とともに、産後ケアや兄弟の一時預かりの充実、また、同じ境遇の人たちとの繋がりなど、母親の心の負担を軽減するための相談支援が重要です。

小さな命を守り、お母さんが安心して育児に向き合える環境づくりをさらに推進するため、以下伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市では、低出生体重児とその家族を対象にどのような支援を行っていますか。
- 2 低出生体重児の家族は、搾乳機や母乳パック、極小紙おむつ購入、その他通院のための交通費などの負担がありますが、経済的な支援についての見解をお伺いします。
- 3 病弱・発育不全が認められる子どもの就学猶予に対する見解をお伺いします。
- 4 母親は自責の念や、発達の不安など、精神的な負担を抱える場合もあります。市として、こうした母親の心理面をどのように把握し、支援していきますか。
- 5 産後ケアや兄弟の一時預かりなど、支援の充実について見解をお伺いします。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	5
受付月日	8月18日（火）
受付時間	14：15

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 8 月 1 8 日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 2 番 須藤 義

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和8年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	須藤 義
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 子どもホスピス整備の検討を

【質問要旨】－簡明に－

子どもホスピスとは、生命を脅かす病気や重い障害のある子どもと、その家族が安心して過ごせるように支援する施設・サービスです。医療機器が必要な子どもでも遊びや学習、創作活動などを楽しみながら「子どもらしく」安心して過ごせる環境が整っている他、保護者が休息を取れるよう支援したり病気ではない兄弟姉妹へのケアや心理的サポートも行ったりします。

国は、令和5年12月に閣議決定した「こども大綱」において、「こどもホスピスの全国普及に向けた取組を進める」と明記しています。また、宮城県内では、認定NPO法人が常設型の施設整備を目指して活動しています。日本ではまだ数が少なく整備が十分とは言えないこと等が課題ですが、近年はこのような子どもホスピス設立を目指す動きが広がっています。

こうした中、2026年5月、仙台市は泉区加茂の市有地を活用し、民間事業者が地域型こどもホスピスを整備・運営する事業の公募を開始しました。市有地を30年間無償で貸し付ける他、看護師等の人件費についても補助する方針で、令和10年度の開設を目指しています。本市は仙台市泉区に隣接しているとはいえ、仙台市に整備される施設については県内外から多数の利用希望者が殺到することが想定され、本市の利用希望者が十分に利用できないことが懸念されます。そのため、本市でも土地の無償貸与や財政支援等を通して民間と連携して整備を検討することが必要と考え、以下のとおり質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 本市は、国の「こども大綱」を踏まえ、子どもホスピスの必要性についてどのように認識していますか。
- 2 本市における重い病気や医療的ケアを必要とする子どもと、その家族の世帯数や生活実態の把握はしていますか。
- 3 本市が明石台地区に取得済みの用地から（仮称）東北医科薬科大学富谷メディカルセンターが必要とする用地面積を差し引いた残りについて子どもホスピスを公募することについて見解は。

答弁を求める者 市長

議 員 名	須藤 義
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 学校の開門時間、本市の見解は

【質問要旨】－簡明に－

近年、共働き世帯の増加などを背景に、子どもの登校時間よりも早く保護者が出勤しなければならないことで、子どもの朝の居場所がないことが課題となっています。特に、家に残して出勤できない小学校低学年の子どもがいる世帯で課題が顕著です。

こうした中、全国の自治体では、小学校の開門時間を早めたり、始業前の児童の居場所を学校内に設けたりする取り組みが広がっています。例えば、群馬県高崎市では令和8年度から市内全小学校を午前7時に開門する取り組みを開始しています。また、愛知県大府市では、早朝の居場所づくりを市内全小学校へ拡大し、シルバー人材センターに運営を委託しています。

本市においても、仙台市など市外へ通勤する子育て世帯が多いため、保護者の出勤時間と子どもの登校時間との間に、一定のギャップが生じている家庭があるのではないのでしょうか。

しかし、学校の開門時間を早めることについては、児童の安全確保の責任所在、見守りを担う人材の確保、教職員の負担増等、様々な課題もあります。そのため、早急にこの取り組みを導入すべきとは考えておりませんが、まずは保護者を対象として、出勤時間、現在困っている状況、希望する利用時間、利用意向などについてニーズ調査を実施し、本市における必要性を調査・研究することは必要と考え、以下のとおり質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 学校の開門時間を早める件について、現時点での本市の見解は。
- 2 保護者へのニーズ調査を実施し、研究を進めるべきではありませんか。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	6
受付月日	8月18日（火）
受付時間	14：37

一 般 質 問 通 告 書

令和 8年 8月18日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 12 番 浅野直子

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和8年第 3 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	浅野直子
質 問 方 式	☐ 一括 ☐ 一問一答

No. 1 質問件名 健康寿命の延伸と社会参加の推進

【質問要旨】－簡明に－

第2期健康推進計画や富谷市高齢者保健福祉計画等の充実した内容を踏まえ、「地域のつながりを生かした健康づくり」が大事であると認識いたしました。健康寿命の延伸に繋がる取り組みに県や民間企業と連携し積極的な推進が行われていますが、本市は今後高齢化率が高くなる予測が示されています。

健康づくりと健康寿命の延伸については、元気な高齢者が多い中での孤立への対応や、社会参加の促進も含めたフレイル予防の推進や全体的な健康施策が重要であると考え、以下伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 疾病の上位にある糖尿病・慢性腎臓病等重症化予防について取り組みを伺います。
- 2 高齢者の孤独・孤立も健康問題として捉え、健康維持へ重要な施策であることについて伺います。
- 3 データから見る「不健康な期間」が県の数値より長いがこの分析について伺います。
- 4 「地域のつながりを生かした健康づくり」について伺います。
- 5 社会参加も含めフレイル予防の重点ポイントを伺います。
- 6 「健康・生活状況の確認・チェック」などを行う仕組みの充実について伺います。
- 7 本市の健康寿命の延伸、健康で活動できる環境、介護予防の支援体制の強化について伺います。

答弁を求める者 市長

議 員 名	浅野直子
質 問 方 式	☐ 一括 ☐ 一問一答

No. 2 質問件名 高齢者の移動支援について

【質問要旨】－簡明に－

本市の高齢者交通支援事業に「とみぱす」があります。利用者の多くの方から高い評価の声をいただき、外出機会の後押しとなり健康維持にも繋がっています。デマンド交通の拡充も行われ、交通体系は推進されていると認識しています。

一方で、バス利用が不可能な時に、タクシーやライドシェアなどの選択肢を増やすことが高齢者移動支援の充実に繋がると考えます。寄せられる声には高齢世帯の孤立も重なり、経済的にも負担が大きいということです。以前よりタクシー利用の助成制度を求めて質問していますが、一律ではなくても要件を加えて実証事業も視野に行うべきと考え、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 高齢者の外出支援、特に通院等に繋がるタクシー利用助成支援について伺います。
- 2 高齢世帯の交通支援に格差があってはいけないと考え、支援の選択肢を増やす考えについて伺います。
- 3 家族構成や年齢・通院等などの要件を加えて実証事業を行うことについて見解を伺います。
- 4 現在のデマンド交通の推進状況とライドシェアなどの導入について今後の見解を伺います。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	7
受付月日	8月19日（水）
受付時間	10：00

一 般 質 問 通 告 書

令和8年8月19日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 5 番 荒谷 敏

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和8年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	荒谷 敏	
質 問 方 式	一括	一問一答

No. 1 質問件名 市内スポーツ施設の整備推進と環境の充実について

【質問要旨】－簡明に－

市民が健康で豊かな生活を送る上で、スポーツに親しむ環境の充実は重要であり、子どもから高齢者の方々まで、誰もが身近な場所でスポーツ活動に取り組める環境を整備することは、健康増進のみならず、地域コミュニティ活動の推進、交流人口の拡大、地域活性化さらに、中学校部活動地域展開による地域クラブの支援につながるものと考えます。

市内の民間屋内全天候型運動施設であるN－1 ドームが施設の老朽化を理由に来年度に閉鎖されるという話を伺いました。これまでフットサルやテニスをはじめ、様々なスポーツやイベントの拠点として利用されてきました。活動している方々にとって、大きな活動場所が喪失してしまうことが懸念されます。

公共施設のみならず、市内には運動施設が少なく、民間事業者が運営するスポーツ施設も市民のスポーツ活動を支える重要な地域資源と考えます。

また、市運動公園については、以前から野球専用グラウンドの整備を求める声が多く寄せられており、市民スポーツ活動の拠点として発展させていくことが重要と考えます。

民間運動施設の閉鎖による市民スポーツ活動への影響を市としてどのように捉えているのか、民間運動施設に対する支援、官民連携の可能性について伺うとともに、市運動公園の現状と今後の整備方針、さらに機能強化や野球専用グラウンド整備の可能性について以下伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 N－1 ドームが閉鎖された場合市内スポーツ活動への影響について。
- 2 民間施設を含めたスポーツ施設の支援及び活用について。
- 3 市内スポーツ施設の現状と将来計画について。
- 4 運動公園の利用者ニーズの把握と、さらなる機能強化について。
(野球専用グラウンドへの改修整備等)
- 5 「スポーツを活用したまちづくり」を宣言する考えは。

答弁を求める者 教育長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	8
受付月日	8月19日（水）
受付時間	10：20

一 般 質 問 通 告 書

令和 8年 8月19日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 14 番 出川 博一

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和8年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	出川 博一
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 新商品開発補助金のその後は

【質問要旨】－簡明に－

これまで15年間にわたり、一期目は3問を目標に、最近では2問のテーマを決めて、財政関係を中心に一般質問を続けてきました。

これまでの質疑や議員としての議決行為の中で、納得できない“もやもや”した事案の一つとして、昨年6月議会での一般質問を取り上げます。内容は「令和4年度～令和6年度の「とみやど」に対する補助金2,430万円の件」です。

再度、その後の商品開発状況及びTOMI+を拠点とした起業創業の実現等について、伺います。

【質問項目】－列記－

- 1 令和7年度以降の商品開発状況について。
- 2 富谷塾第1期から第8期までの、90名の起業者の動向は。
- 3 株式会社1038の決算状況について。

議 員 名	出川 博一
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 市民センター移行のその後は

【質問要旨】－簡明に－

本市では、令和6年6月に富谷市協働のまちづくり推進審議会の答申を受け、令和8年4月からの運用を目指し、制度改正等の検討を進めてきました。利用制度や費用負担の在り方などについて見直しを図り、利用しやすく地域に根差した「市民センター」への移行に向け、検討してまいりました。

これまで、市内の公民館は「社会教育法」に基づく社会教育施設として、営利目的に該当する事業を全面的に認めない運用をしてきましたが、令和5年12月に文部科学省より通知があり、「公民館が営利事業に関わることを全面的に禁止するものではない」ことが改めて明記されました。

これらを踏まえて、本年4月1日より、「公民館」から「市民センター」への移行が進められました。名称変更は終了していますが、見直しの視点として掲げられた項目について伺います。

【質問項目】－列記－

- 1 施設利用の拡大について。
- 2 使用料等の料金体系の改定について。
- 3 減免区分の改定について。
- 4 市民活動団体への支援について。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	9
受付月日	8月19日（水）
受付時間	10：40

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 8 月 19 日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 13 番 長谷川 る美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和8年第3回富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	長谷川 る美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 「ブックスタート事業」の導入について

【質問要旨】－簡明に－

ユートミヤ開館や子育て世代の増加傾向を背景に、絵本を通じた乳幼児期の親子体験づくりとして「ブックスタート」の導入を提案します。仙台市や石巻市など近隣自治体の事例を参考に、宮城県の指針や本市が掲げる施策とも重なる点、本市においてすでに実施している乳児健診の際の読み聞かせの取組を踏まえれば、新たな組織や大きな予算を必要とせず、導入可能であると考え以下質問致します。

【質問項目】－列記－

- 1 幼児と絵本に親しむ機会づくりについて、本市はこれまでどのような検討を行ってきたのか、お伺いします。
- 2 既存の施策の延長線上に位置づけられること、また、近隣自治体で実施されていることも踏まえ、本市においてもブックスタート事業の導入を進めていくお考えがあるか、具体的な課題とあわせてお伺いします。
- 3 ブックスタートを通じて、ユートミヤの利用促進につながる相乗効果が期待されると思いますが、市のお考えをお伺いします。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1 0
受付月日	8 月 2 0 日（木）
受付時間	9：38

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 8 月 2 0 日

富谷市議会

議長 畑山 和晴 殿

富谷市議会議員 6 番 菊池 美穂

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 8 年第 3 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	菊池 美穂
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 高齢者のごみ出し支援について

【質問要旨】－簡明に－

私は、令和7年第1回定例会において、高齢者の生活支援、とりわけ、ごみ出し支援について一般質問を行いました。

その際、市長からは、高齢者のごみ出し支援の必要性を認識しており、他自治体の状況を調査し、富谷市に合った仕組みを検討するとともに、福祉部局と環境部局が連携し、特別交付税措置も活用できる形で、なるべく早い段階で対応を検討したいとの答弁がありました。約1年半が経過した今、検討段階から実施段階へ移る時期ではないでしょうか。

ごみ出しが困難になることは、単なる生活上の不便ではありません。ごみ屋敷化やセルフネグレクト、認知症の早期発見、孤立防止など、多くの福祉課題と密接に関係しています。

今後も高齢化は着実に進み、本市でも一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯はさらに増加していくことを想定し、本市の高齢者が健康で自立した生活を維持するため、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 他自治体調査、庁内協議、財政面の検討、特別交付税の活用検討について、それぞれどこまで進んだのですか。具体的な検討内容と現在の到達点は。
- 2 市民からどのような要望の声がありますか。
- 3 先進自治体では、戸別収集方式や、民間・地域団体との連携、見守りを兼ねた訪問型支援など、さまざまな手法が採用されています。本市として、どのような制度設計が最も適していると考えていますか。
- 4 令和9年度当初予算に、高齢者のごみ出し支援事業を新規事業として計上する考えはありますか。

答弁を求める者 市長

議 員 名	菊池 美穂
質 問 方 式	☐ 一括 ☐ 一問一答

No. 2 質問件名 ごみ屋敷対策・放置車両対策について

【質問要旨】－簡明に－

近年、全国各地で、いわゆる「ごみ屋敷」や「放置車両」が地域課題となつていきます。それは、景観の悪化だけではなく、道路への流出による通行等への影響、悪臭や害虫・有害鳥獣の発生、防災上の火災リスク、防犯上の不安など、周辺住民の生活環境に大きな影響を及ぼします。

一方で、その背景には、高齢化や認知機能の低下、身体機能の低下、孤立、生活困窮、精神的な課題など、複合的な福祉課題を抱えているケースも少なくありません。そのため、ごみ等を撤去するだけでは根本的な解決には至らず、「人」に寄り添った支援が重要であると考えます。発生してから対応するのではなく、未然に防ぐ仕組みを整えるべきです。

高齢化の進展に伴い、市民が安心して暮らせる生活環境を守るためにも、ごみ屋敷や放置車両を単なる環境問題ではなく、福祉・地域コミュニティ・防犯防災等を含めた総合的な行政課題として捉え、本市としても早期に対策体制を構築すべきと考え、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 ごみ屋敷および放置車両(予備軍含む)に関する相談や苦情は、どのような体制で対応していますか。
- 2 現在の対応において、所有者の特定や撤去に至るまで、福祉的なアプローチが必要な問題も含め、どのような課題がありますか。
- 3 環境、防災、道路管理、警察など関係部署・関係機関が連携した対応体制を構築する考えは。また、福祉課題と複雑に絡み合うケースが多いことから、全庁横断型の連携体制を構築する考えは。
- 4 関係部署・関係機関と地域や民間事業者が連携して解決を図る仕組み等について検討が必要では。
- 5 全国の先進自治体を参考に、対応基準や手順の明確化が必要では。
- 6 条例・要綱等の設置についての考えは。

答弁を求める者 市長

議 員 名	菊池 美穂
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 3 質問件名 路線バスを維持するための連携強化について

【質問要旨】－簡明に－

市外への通勤・通学、買い物、通院等において、仙台市泉中央駅と本市を結ぶ路線バスは、市民の日常生活を支える極めて重要な交通インフラです。

現在、全国的にバス運転士不足や利用者の減少、燃料費・人件費等の上昇など、路線バスを取り巻く経営環境は厳しさを増しています。

特に、高齢化が進み、今後さらに自家用車を運転できない市民が増えることを考えれば、既存の路線バスを地域全体で守るべき社会インフラとして位置付ける必要があると考え、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 現在、市内を運行する路線バスについて、本市の公共交通ネットワークを構成する重要な交通インフラとして、どのような課題を認識していますか。
- 2 路線維持に向け連携体制を強化する考えは。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1 1
受付月日	8 月 2 0 日（木）
受付時間	9 : 5 1

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 8 月 2 0 日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 7 番 渡邊 清美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和8年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	渡邊清美	
質 問 方 式	一括	一問一答

No. 1 質問件名 災害時の避難所運営について

【質問要旨】－簡明に－

本年7月には熊本県での地震、8月には千葉県の高雨と、全国的に人命に関わる災害が続く、災害はいつ起こるか分かりません。

避難行動要支援者や支援が必要な市民、ペットとの同行避難が必要な市民への対応も必要であり、支援の多様化が求められています。

市民が安全、安心に避難できる避難所の運営が必要と考え、以下質問します。

【質問項目】－列記－

1 避難行動要支援者の避難について

- ① 個別避難行動計画の策定の状況は。
- ② 避難所の車いす対応トイレ等のバリアフリーの対応状況は。
- ③ 避難所までの移動の確保をどの様に考えているのか。
- ④ 車中泊の対応は。

2 ペットとの同行避難について

- ① 環境省は災害時、ペットとの同行避難を基本方針としていますが、本市の考えは。
- ② ペット同行受入れ場所として富谷中央市民センター、日吉台市民センターの2か所とした理由は。
- ③ ペット同行受入れ場所の周知方法は。
- ④ 保護団体等との連携も必要と考えますが見解は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1 2
受付月日	8 月 2 0 日（木）
受付時間	1 1 : 3 0

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 8 月 2 0 日

富谷市議会

議長 畑 山 和 晴 殿

富谷市議会議員 3 番 伊藤 嘉樹

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和8年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	伊藤 嘉樹	
質 問 方 式	一括	一問一答

No. 1 質問件名 我が市の子育て・教育について

【質問要旨】－簡明に－

「子どもにやさしいまち」を標榜する我が市において、子どもや子育て世代を取り巻く現状と関連政策を広く確認する。また、真のチルドレンファーストを体現する地域社会の実現を目指す観点から、これまでの施策の成果と課題を整理し、今後の具体的な施策展開について本市の見解を問う。

【質問項目】－列記－

- 1 少子高齢化に伴う入学者数、児童生徒数の減少、学区再編や学校統廃合について今後の展望は。
- 2 部活動の地域展開の現状は。
- 3 公民館の市民センター化による、利用者数や利用率の変化は。
- 4 市民センターを生涯学習の地域拠点として、特に子どもたちの諸活動をどの様に支え、促進するのか。
- 5 地域の教育財産としての富谷高校と若者の地域定着策や地域連携等の現状は。
- 6 小中高校生の市民バス及びデマンド交通の無償化の検討は。
- 7 開館から四半期以上経過したユートミヤの現状は。
- 8 屋内遊戯施設では利用における制限が多く見受けられますが見解は。
- 9 子どもにやさしいまちづくり条例に関連する施策の進捗状況及び市民の理解促進の現状は。

答弁を求める者 市長